



あなたの未来に笑顔と元気を！

スマイル通信

Sato-Kazuko Smile report 2022年 新春号

〒982-0804 仙台市太白区鉤取 2丁目 1-3 TEL&FAX 022-245-7245
E-mail:sato@sendai-komei.jp URL http://www.sato-kazuko.net

一人の声を大切に！100万人の笑顔のために！

年明け早々に、新たなコロナ変異株の感染が急拡大しております。市民の安心のため、ワクチン3回目接種の迅速化など対策に全力を上げてまいります。市民の皆様には引き続き、感染防止のご協力をお願い申し上げます。

この度、第3回臨時会・第4回定例会の一般質問や調査要望活動等のご報告として「スマイル通信2022年新春号」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いです。本年は公明党の立党精神である「大衆とともに」から60年の佳節。この原点を深く心に刻み市民のお役に立てるよう精進してまいります。

2022年1月吉日 仙台市議会議員 さとう和子

子育て家庭を応援！ 子育て世帯等臨時特別給付金 が全額現金一括支給へ！



12月14日、公明党仙台市議団は郡市長へ子育て世帯等臨時特別支援事業に関する緊急申し入れを行ないました。会派で実施した保護者等の緊急アンケート調査結果を示し「全額現金、年内一括10万円給付すること」を強く訴えました。児童手当受給世帯へは12月24日に支給となり、16歳～18歳までの児童のみを養育する世帯等は申請手続きが必要で1月4日から開始されています。

2021年度補正予算では、長期化するコロナ禍を受けた生活支援策として住民税非課税世帯等には10万円支給及び原油価格高騰に伴う冬季生活助成金5,000円支給、学びが継続できるよう困窮学生に10万円の緊急給付金(各学校への申請)などが支給されます。

若林区役所に「ご遺族サポート窓口」が開設しました！



手続きの一元化で負担を軽減！

2019年に先進的取り組みの石川県小松市を会派視察し、議会質問や新年度予算要望で早期設置を何度も求めてきたものです。

私は2020年9月の決算等審査特別委員会で、コロナ禍でご家族を亡くされた方々の聞き取りをし、手続きの簡素化・短縮化、ハンドブックの作成、専用コールセンター

の設置、丁寧な対面対応、将来はオンライン対応も視野に入れ、ご遺族が安心してできる手続きのサポートを強く訴えました。

新年度には全ての区役所・総合支所に開設予定です。公明党仙台市議団は12月に開設した若林区役所を視察しました。(12月3日)



◆◆ 第4回定例会・一般質問 ◆◆ (令和3年12月13日)

◆職場でのハラスメント「いじめ・嫌がらせ」防止対策の強化

・職員相談・通報窓口寄せられたパワハラ相談の相談通報件数は平成30年度から令和3年9月30日までの3年半で57件。そのうち10件の通報を受理し調査した結果、通報対象者に是正措置ができるパワハラと認定されたのは1件もない状況である。認定まで至らなかった通報対象者についても、部下への指導のあり方のサポートや管理職の講習会受講の徹底等、パワハラの予防・解決のためにしっかり指導すべきである。また、通報した当事者にとっては、相談しても嫌な扱いを受けないようにすることや職場の環境改善、メンタル支援を行なうことも必要であると訴えました。



- ・コンプライアンス推進計画(令和元年度～令和3年度)の取り組みの進捗状況
- ・ハラスメント防止対策に臨む姿勢
- ・パワハラ通報の適切な調査を進めるために無記名アンケート方式の活用
- ・コンプライアンス推進に係る職員意識調査項目の実態を把握する工夫

◆女性のデジタル人材育成の推進

Q: 地方創生推進交付金や地域女性活躍推進交付金などの国のメニューを活用し、官民連携で女性のデジタル人材育成の仕組みの構築を検討すべき。

A: (市長答弁) 進展が著しいデジタル技術を活用したテレワークの実用化などは、仕事と子育てなどを両立しやすい環境といった点で、女性の多様な働き方や生活の質の向上にも資する、重要なものであると認識している。女性の活躍という視点は、本市の都市活力を向上させていくうえでも不可欠のものである。国の制度や他都市の事例も参考にしながら、支援してまいりたい。

◆来年度から実施予定の子宮頸がんワクチンの積極的勧奨再開について、個別通知による速やかな情報提供とキャッチアップ制度の取り組み

*キャッチアップ制度: 国において2013年6月以降、子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方への対応として無料で接種できること



こちらから一般質問の動画をご覧いただけます



◆◆都市整備建設委員会◆◆

(令和3年11月19日・12月15日)

◆◆主な質問項目

- ・浄水処理について、良質な水道水を供給するための検査体制等
- ・仙台市の水道水のおいしさをPRしてきた水道水ボトルウォーター事業(令和3年11月終了)について、紙パックでのリニューアルと安全性が高い水道水の発信
- ・地域公共交通計画(中間案)のパブリックコメントの実施について
- ・2回目の試験運行を実施している秋保地区の地域交通「ぐるりんあきう」について、路線バスや民間事業者との競合の課題に向けた市の主導的協議
- ・地下鉄沿線まちづくりの推進プラン(中間案)について、若い世代の意見を取り入れるパブリックコメントの実施について
- ・東西線八木山動物公園駅の2割程度利用の駐輪場活用、てっぺん広場のキッチンカーなど柔軟な活用と利用条件の緩和



皆さまの声をカタチにしました!

今年1月4日から新型コロナワクチン接種専用コールセンターがナビダイヤル(有料)からフリーダイヤル(無料)に変更しました!

市民から多くの声が寄せられており、会派の緊急要望はじめ、私は第2回定例会の代表質疑(6月14日)において、「コロナ感染は災害であり、非常時。市民に負担を掛けるべきではない」と強く訴えました。市民の様々なご不安等に対応できる相談体制の強化に取り組んでまいります。

新型コロナワクチン接種
専用コールセンター

0120-39-5670

(フリーダイヤル)
8:30~19:00 年中無休



長町越路

■ 鉤取字向原前付近と
長町越路付近の
道路舗装



■ 日本平中央バス停(宮交)
付近の路面標示

■ 佐保山3付近のLED外灯設置

■ 泉崎1丁目22付近
の止まれの標識設置

■ 茂庭台3丁目付近では、住民宅や外灯に樹木が生い茂り生活や通行に支障がきているため、街路樹の高木剪定、歩道沿いの間引き伐採、ヤマザワ茂庭店出入口の低木剪定を行ないました。



アエル24階マイナンバーカード特設センターが移設!

写真撮影(無料)から申請手続きまで1回で完了!カードはご自宅に届きます!

マイナンバーカードは、行政手続きのオンライン申請、身分証明書、コンビニなどで住民票の写し・印鑑証明書などの取得や健康保険証としての利用のほか、今後、運転免許証との一体化なども検討されています。

また、買い物などでキャッシュレス決済を利用した場合ポイントが得られる「マイナポイント第2弾」が今月からスタートしました。

マイナンバーカード特設センターの申請手続きと事前予約はこちらから▶



マイナンバーPRキャラクター マイナちゃん

視察・活動

仙台赤十字病院の現地存続を求め、 地元地域が署名簿とともに要望書提出！

仙台医療圏の4病院再編の県方針を巡って、12月21日、八木山・西多賀・八木山南・緑ヶ丘・向山地区の5連合町内会で村井県知事へ。11月25日は八木山南連合町内会、12月22日は八木山・西多賀・緑ヶ丘地区の3連合町内会が



郡市長に住民の声を届けました。太白区選出の自民・公明の県議・市議が同席させていただきます。

公明党仙台市議団は第4回定例会の代表質疑(12月)で、会派で行なった「仙台圏の2つの拠点病院再編に関する調査」を示し、仙台市民全体に関わるため市民の意見を聞く「パブリックコメント」の実施を求めています。



■女性デジタル人材育成の先進的
取り組みを推進している長野県
塩尻市と(株)MAIA(オンライン)
を聴講 (8月18日)

■第41回仙台市宅地保全審議会出席

仙台市における宅地耐震化推進事業の取り組み、
双葉ヶ丘1丁目地区宅地法面崩落への対応、盛土に
よる災害防止に向けた総点検について

(11月12日)

■タブレット活用による取手市議会オンライン本会議実証にかかる取組報告会
(オンライン)を聴講 (11月16日)



■平成28年の参議院選挙から全国初で導入
した島根県浜田市の移動期日前投票所(車)
について会派視察(オンライン) (11月17日)

■「森林資源活用と都市の木造化～杜の都に期待すること～」
林野庁東北森林管理局長 宮澤俊輔氏の講演参加 (12月7日)

■郡山折立線(鉤取工区)鉤取4丁目北側・南側交差点の
安全対策についての地元説明会参加 (12月23日)



「多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク」と仙台市議会議員有志主催 の「せんだい不登校シンポジウム」を開催！

11月22日、鰐淵洋子文部科学大臣政務官(公明党)の来賓挨拶(オンライン)、「教育機会確保法と不登校施策について」と題して、文部科学省 児童生徒課生徒指導室課長補佐 大野照子氏の基調講演、不登校経験者や不登校の子どもを持つ保護者の体験談などの内容で喫緊の課題である不登校対策の貴重な勉強会となりました。公明党仙台市議団の小田島久美子議員が代表世話人を務めております。

また、教育委員会では、2015年に閉校となった坪沼小学校跡地の利活用を「公募型プロポーザル方式」で事業候補者を募集し、昨年11月に学校法人「ろりぼっぴ学園」に決定。国指定の「不登校特例校」開設を目指し準備を進めているとのこと。不登校対策が大きく前進することになり期待するものです。教育機会確保法の理念を広く普及させ、官民連携の強化に取り組んでまいります。